

平成24年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった
主な課題

- ① 内容を明確にしたり、条件に合わせてたりして、自分の考えをまとめて書くこと。
- ② 数学的な表現を用いて事象の関係を理解したり、適切に表現したりすること。
- ③ 観察・実験の結果などを整理・分析した上で、解釈・考察し、説明すること。
- ④ 勉強は大切だと思っている児童生徒の割合に比べて、勉強が好きだと思っている児童生徒の割合が低い
- ⑤ 学校のきまりを守っている児童生徒の割合は、少しずつ改善されているが、全国平均と比べ低い。

改善に向けて

◎ 知識や情報を活用して、問題解決を図る活動を組み立てましょう。

- ・児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問を行い、自分の考えを発表する機会を与える。
- ・授業の内容と関連させて、調べさせたり、発展的に考えさせたりするために家庭学習の課題を与える。

◎ 学習に対する意欲を高める手立てを工夫しましょう。

- ・授業で学習した漢字や計算方法などを実際の生活で使うなど、学習内容を普段の生活に活用できないか考えさせる。
- ・補足的な指導や発展的な指導など指導方法の工夫をする。

◎ きまりやルールに対する意識を高めましょう。

- ・職場体験活動やボランティア活動等の体験活動を通して、規範意識や社会性の向上を図る。
- ・学校のきまりを守ることの大切さやルールの必要性などについて考えさせる。

◎ 調査問題や調査結果を授業改善、指導改善に生かしましょう。

- ・学校の指導計画や取組を検討するに当たり、全国学力・学習状況調査や奈良県学習状況調査の調査結果及び報告書の内容を参考にする。
- ・全国学力・学習状況調査の調査問題や調査結果を調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で活用する。

★学校全体で取り組むシステムをつくりましょう。

★学校・家庭・地域が連携するシステムをつくりましょう